

親子自然あそびひろば

野外保育 里山いっぽ 2013 年度募集要領

特定非営利活動法人しずおか環境教育研究会

●保育方針

人と自然、人と人との関係性を体感できる里山で友達や身近な大人と過ごし、「しぜんあそび」をする中で、生きる力の素地となる自分らしさを培い、自分らしさを認め合い、友達と自然との関わりを深める

●実施日（2013年度）

4月1日～ 7月25日

9月2日～ 12月26日

1月6日～ 3月20日

の月、水、木(祝祭日をのぞく)の9:30～13:30

●場所

有度山北麓（静岡市駿河区平澤付近）

※ホームページにてご確認ください。

●対象

3歳児（平成21年4月2日生まれ～平成22年4月1日生まれの子）

●定員

10人

●年度登録料

20,000円（登録後、2週間以内に納付）

●申込方法

2012年10月1日 一斉申込（申込書をエコエデュ事務所へ提出（必着で郵送可））

申込書提出後、面談を経て可否が決まります。

（別紙参照）

●料金

25,000円／月（別途材料費として2000円／月が必要となります。）

●入会申込書の配布

9月中の里山のかやねずみ活動内と9月22日の体験会にて配布します。

【野外保育里山いっぽ 実施の経緯】

エコエデュの幼児活動

しずおか環境教育研究会（以下エコエデュ）では、10年以上にわたり幼児の環境教育体験活動（現里山のかやねずみ）を実施してきました。幼児期に保護者と自然の中に身を置き、その子その子のペースにじっくり付き合う時間は子どもにとって非常に豊かでかけがえのないものとなっています。

幼稚園入園において

一方、静岡市においては年少の年齢になるまでに保育園や幼稚園に入園する子どもが大半だという現状があります。

里山のかやねずみに通う保護者からは「うちの子は早生まれだけれど、年少から園に入れるべきなのか」「周りのお友達がみんな入園して遊び相手がいなくなるから、うちも入園させるしかない」など、年少児から大きな集団へ子どもを送り出すことへの不安や戸惑いの声が毎年聞かれます。

年少児の育ち

年少の子どもは、周囲の出来事や人に関心を持ち、自分から遊びを作り出したり、同世代の友達や身近な他の大人とのふれあいを自ら働きかける様子が見られたりする年齢です。一方でそれまで密接に信頼関係を築き上げてきた保護者という安全基地から少し離れて他の世界に入りつつも、その安全基地を心のよりどころとして頼りにしている側面も見受けられ、自立度合いは個人差が大きいのも事実です。

里山いっぽのスタート

10年以上このような年少児とその保護者の様子を見てきたエコエデュは、保護者と突然離れて過ごすのではなく、大きな集団に入る一段階前に、1週間のうちの3日4時間程度保護者のいない中で、信頼できる大人と仲間と少人数で自然の中で過ごすことで、その子その子のペースを最優先とした子どもの自発的な育ちをサポートする活動ができるのではないかと考えてきました。

上記のような状況をうけ、この度エコエデュでは2013年度より「野外保育里山いっぽ」をスタートさせることとなりました。

【里山いっぽが大切にすること】

○こどもじかん

子どもには「こどもの時間」が流れています。ゆったりとした時間の流れの中で、あそびのはじまりとおわりが子どもたちの手にゆだねられています。

○しぜんあそび

自然あそびとは「自然の中で遊ぶこと」の他に「子どもから自然に生まれるあそび」を意味します。子どもから自然に出てくるその子らしさと丁寧に向き合い、人としての根幹を育てます。

○里山の自然

森、川、田畑のある里山は人が先人の知恵を継承して作り上げた自然です。一つとして同じもののない多様な生命と日々触れ合うことのできる環境は、子どもの感性を呼び覚まし創造力豊かなあそびを生み出します。

【保育の視点】

保育者は下記の視点を持って、保育に取り組みます。

○『子どもの今を感じ、待つ』

その子の今の姿や、何に興味を持ち伸びようとしているのかを見極め、子どもの気持ちに寄り添い、保護者とのつながりを大事にしながら子どもの成長を待ちます。

○『子どもとまわりの生命の存在をつなぐ』

自分が大事にされてはじめて友だちや小さい生命への思いやりが生まれます。家族ではない信頼できる保育者がていねいに向き合うことで、その経験がその子の心の支えとなり、子どもの世界が広がっていきます。

○『子ども同士が育ち合う過程を見守る』

子どもは友だちと力を合わせたり、ぶつかりあったりと子ども同士で育ち合います。子どものやりとりを見守り、コミュニケーションの力の元になる柔軟な心を育みます。

【保育者】

お子さんをお預かりする保育者は、エコエデュでの活動経験が3年以上のスタッフです。

活動中は2名で対応します。

スタッフは保育士、幼稚園教諭、看護師の有資格者です。

【ご家庭との連携】

野外保育里山いっぽは、家庭生活を基盤とする中での週3日の活動です。保護者と保育者が家庭での様子、里山いっぽでの様子を相互に共有し子どもの育ちを見守っていきます。保育者と話すことで普段見えなかったわが子の一面に気づいたり、友達の中で過ごすわが子の様子がわかる等、家庭での子育ての参考にさせていただけます。送迎は基本的には親御さんに行っていただき、ご家庭との連携を密にとっていきたくと思っています。ご協力をお願いいたします。

【安全への考慮】

悪天候以外は基本的に野外で過ごします。よって安全面には最大限の配慮をします。

フィールドの状況を常にチェックし、保育者はエコエデュの安全基準に基づいて行動します。(安全基準に関しては公開しています。いつでもお問い合わせください。)

子ども達の集団の現状に合わせたフィールド選定を実施します。

実施前には必ず実施場所の下見をし、危険箇所、危険な植物等の確認をします。

活動日の朝、保護者と子どもの様子や体調に関するの情報共有を毎回行います。

活動時間内は長袖長ズボン、帽子を必ず着用し、歩きやすい靴や体にあったリュックを使用する等、服装や持ち物を指導します。

大きな事故を起こさない最良の方法は、保育者と子どもの間に信頼関係が存在することだと考えています。保育者の「危ないからそれはやめておこう、ここには行かないで」の声かけに対して、行動を自ら制止するには保育者に信頼を抱いていることが第一です。

【面談について】

野外保育里山いっぽの入会は面談及び上記安全への配慮をふまえた基準により、その可否を判断します。

面談は有識者のアドバイザーと現場の保育者によって行います。里山いっぽは前述のとおりご家庭との連携を基本に実施していく活動です。面談ではエコエデュが里山いっぽで大切に考えること等をご家族と共有し、お子さんのご家庭での様子や親御さんのお子さんに対する想いを伺います。

【入会の条件】

上記安全面への配慮の点から、入会にあたっては条件を設けます。

- 1、エコエデュが入会可能と判断した子どもであること
- 2、平成24年11月～3月までの期間、「里山のかやねずみ」に親子で月3回以上参加すること
- 3、服装、持ち物は里山いっぽが指定したとおりに準備すること
- 4、原則子どもの親本人が送り迎えをすること

※里山のかやねずみ・・・未就園児の親子対象活動、週3日実施

【最低実施人数】

2013年1月8日時点で入会者が8名に満たない場合は2013年度の実施を見送ります。ご了承ください。入会者数に関しては逐一ご報告させていただきます。なお中止の場合、年度登録料は返金させていただきます。

【4月に向けて】

野外保育里山いっぽは「こどもじかん」を大切に考えています。

入会が決まったら、「里山のかやねずみ」（親子活動）に参加し人と場に慣れていただきます。1月からは「里山のかやねずみ」の活動内でお母さんと離れる時間を取り入れていきます。3月「里山のかやねずみ」の活動が終了した後の週も活動日を設ける予定です。お子さまが無理なくお家の方と離れられるような配慮を致します。

●入会スケジュール●

- 7月29日 第一回説明会
- 8月26日 第二回説明会
- 9月22日 体験会
- 10月1日 入会申込書一斉受付
- 10月中旬 面談、入会可否決定
- 11月～ 里山のかやねずみ参加開始
- 3月初旬 オリエンテーション
- 4月1日 里山いっぽスタート